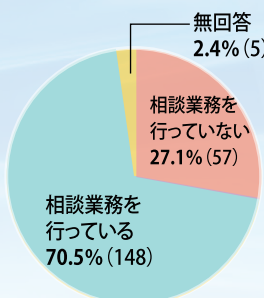




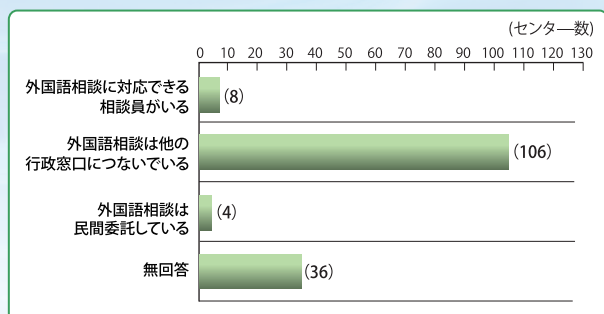
外国人相談事業への取組状況

相談業務を行っているセンターのうち、外国語相談員がいるセンターは、8施設、他の行政につないでいるセンターは106施設

センターの相談業務の実施状況



相談業務を行っているセンターの外国語相談への対応



自治体の外国語相談対応状況 (%)

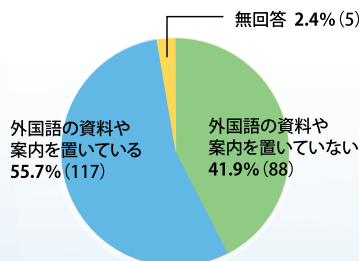
	総数	対応している	対応していない	無回答
総数	473	31.7	67.2	1.1
都道府県	18	38.9	55.6	5.6
市	381	36.5	63.0	0.5
再掲				
都市部	28	57.1	39.3	3.6
中核部	23	39.1	60.9	-
町村	72	5.6	91.7	2.8

内閣府、「地域に置ける配偶者暴力対策の現状と課題に関するアンケート調査報告書」

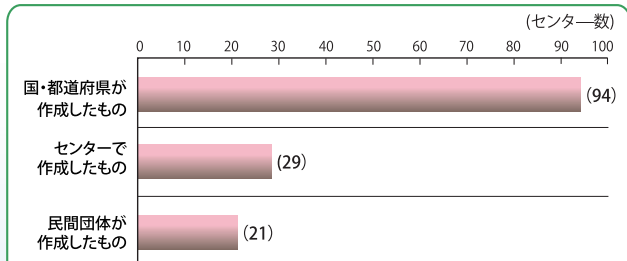
外国語資料の設置の有無

外国語資料を置いているセンターは117施設、55.7%、そのうち独自に資料を作成しているセンターは29施設

センターの外国語資料設置状況



センターに置いている外国語資料



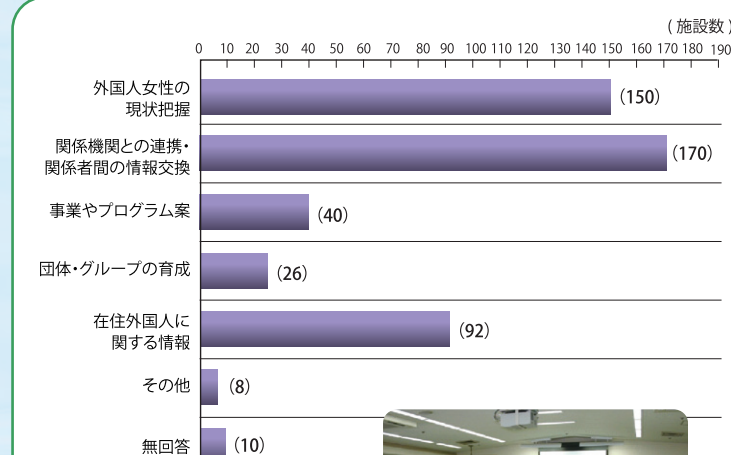
設置資料の例:

「パープルダイヤル」「配偶者からの暴力相談案内」(9ヶ国語)(内閣府)、人身取引相談(警察庁、法テラス案内、外国人相談の案内、多文化共生課作成の広報誌、医療機関リスト、緊急時の避難案内



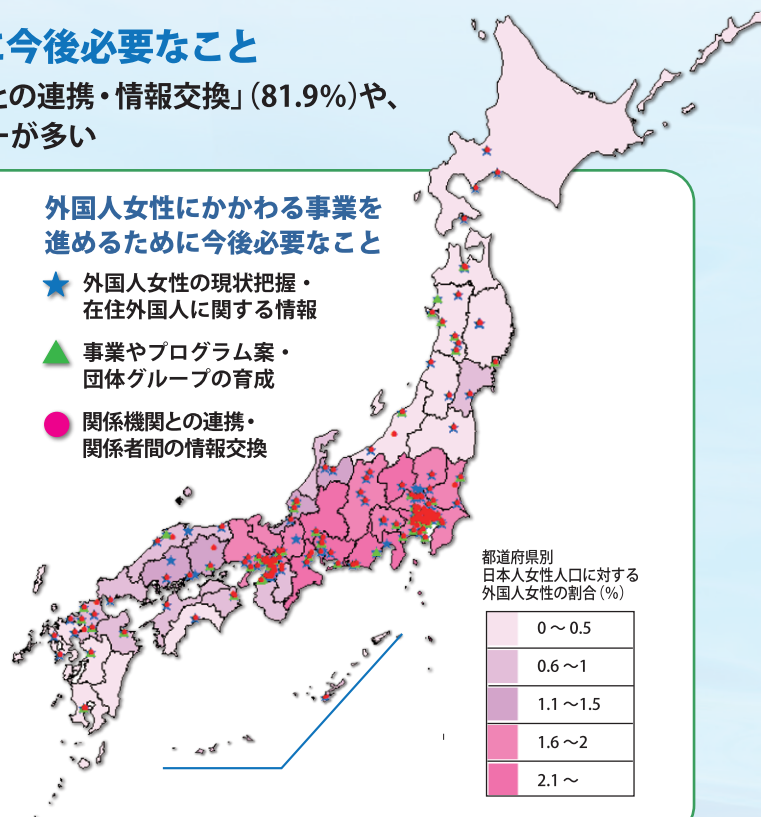
外国人女性にかかわる事業を進めるために今後必要なこと

外国人女性にかかわる取組を行うために、「関係機関・者との連携・情報交換」(81.9%)や、「外国人女性の現状把握」(71.4%)が必要と答えたセンターが多い



外国人女性にかかわる事業を進めるために今後必要なこと

- ★ 外国人女性の現状把握・在住外国人に関する情報
- ▲ 事業やプログラム案・団体グループの育成
- 関係機関との連携・関係者間の情報交換



NWEC

グローバル

男女共同参画と国際化 地域で暮らす外国人女性

「第4次男女共同参画基本計画」と外国人女性や国際協調への取組

平成27年12月に第4次男女共同参画基本計画が閣議決定。引き続き、外国人女性に対する配慮や環境整備、国際的な協調や貢献について取り組むことが記載されている。

第7分野

女性に対するあらゆる暴力の根絶

- ・女性に対する暴力の根絶と予防のための基盤づくり
- ・配偶者等からの暴力の防止・被害者の保護等の推進
- ・被害者に対する職務関係者の配慮の徹底
- ・人身取引対策の推進

第8分野

貧困、高齢、障害等により困難を抱えた女性等が安心して暮らせる環境の整備

日本で生活する外国人であること、....に加え、女性であることで更に複合的に困難な状況に置かれている場合については、.... 人権尊重の観点からの配慮が必要である。

このため、男女共同参画の視点に立ち、様々な困難状況に置かれている女性等が安心して暮らせる環境整備を進める。

第12分野

男女共同参画に関する国際的な協調及び貢献

- ・女子差別撤廃条約等の国際的規範・会議における議論への対応
- ・男女共同参画分野での国際的なリーダーシップの発揮

都道府県別 在住外国人女性の割合と 女性/男女共同参画センター設置状況

女性関連施設の設置状況

- ★ 都道府県
- ▲ 政令指定都市
- その他

日本人女性人口に対する外国人女性の割合 (%)

0 ~ 0.5
0.6 ~ 1
1.1 ~ 1.5
1.6 ~ 2
2.1 ~

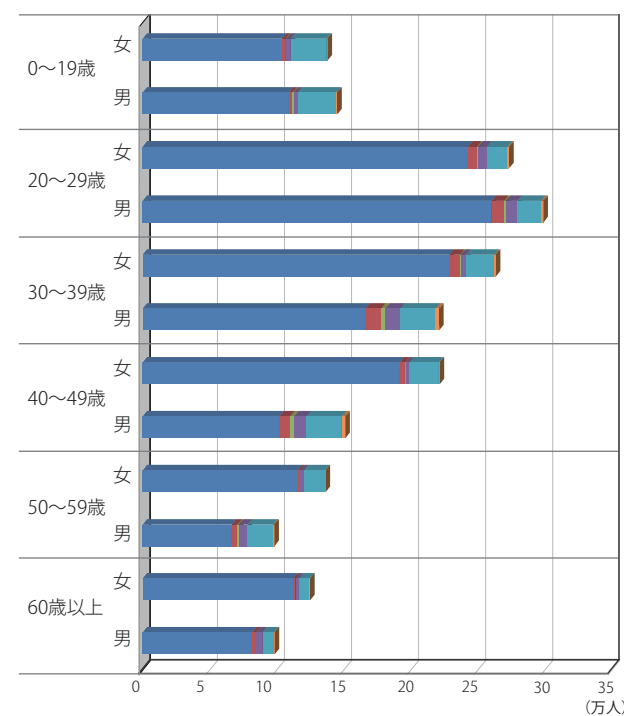


国境を超えて移動する女性の増加 海外で暮らす日本人、日本で暮らす外国人、共に女性の割合が高い

■年代別・性別外国人登録者数

日本在住外国人は、30歳以上の年齢階級すべてにおいて女性割合が男性を上回っている。

年代別・性別外国人登録者数



「在留外国人統計」(2015.6)

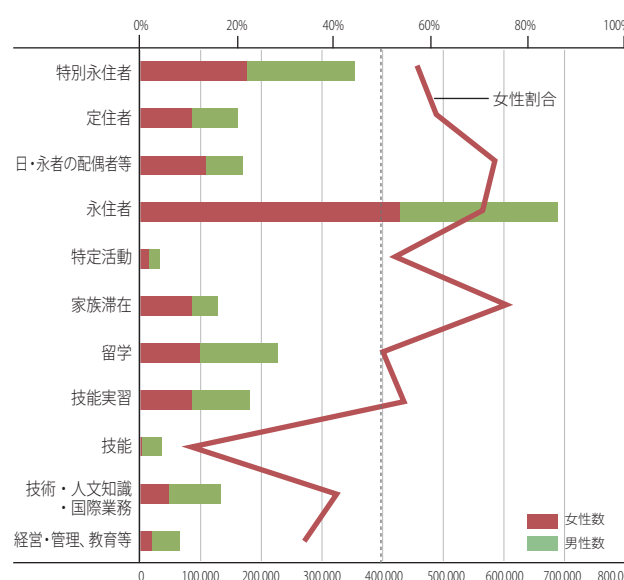
■主な地域・国別在住外国人の女性割合

国籍・地域	総数	女	男	女性割合
総数	2,172,892	1,158,601	1,014,291	53.3
アジア	1,782,866	996,168	786,698	55.9
中国	656,403	375,840	280,563	57.3
韓国・朝鮮	497,707	269,017	228,690	54.1
フィリピン	224,048	167,798	56,250	74.9
ベトナム	124,820	51,690	73,130	41.4
ネパール	48,403	16,312	32,091	33.7
台湾	45,209	31,660	13,549	70.0
タイ	44,175	32,681	11,494	74.0
インドネシア	32,524	10,919	21,605	33.6
インド	25,309	7,703	17,606	30.4
パキスタン	12,235	3,073	9,162	25.1
ミャンマー	12,132	6,387	5,745	52.6
スリランカ	11,933	3,522	8,411	29.5
バングラデシュ	10,205	3,397	6,808	33.3
マレーシア	8,585	4,228	4,357	49.2
モンゴル	6,214	3,540	2,674	57.0
カンボジア	4,916	2,684	2,232	54.6
イラン	3,992	695	3,297	17.4
トルコ	3,906	865	3,041	22.1
ラオス	2,564	1,220	1,344	47.6
シンガポール	2,449	1,536	913	62.7
アフガニスタン	2,323	605	1,718	26.0
ヨーロッパ	64,661	25,214	39,447	39.0
英国	15,197	3,792	11,405	25.0
フランス	10,219	2,926	7,293	28.6
ロシア	7,973	5,460	2,513	68.5
ドイツ	6,019	2,208	3,811	36.7
イタリア	3,399	1,036	2,363	30.5
スペイン	2,448	839	1,609	34.3
ルーマニア	2,330	1,840	490	79.0
スウェーデン	1,800	552	1,248	30.7
ウクライナ	1,636	1,266	370	77.4
アフリカ	12,721	3,095	9,626	24.3
ナイジェリア	2,569	264	2,305	10.3
ガーナ	1,959	339	1,620	17.3
エジプト	1,676	646	1,030	38.5
ケニア	644	239	405	37.1
南アフリカ共和国	623	269	354	43.2
北米	64,968	21,607	43,361	33.3
米国	51,523	17,102	34,421	33.2
カナダ	9,304	2,672	6,632	28.7
メキシコ	2,135	903	1,232	42.3
南米	234,266	108,341	125,925	46.2
ブラジル	173,038	78,823	94,215	45.6
ペルー	47,800	22,880	24,920	47.9
ボリビア	5,394	2,514	2,880	46.6
アルゼンチン	2,631	1,199	1,432	45.6
コロンビア	2,240	1,433	807	64.0
オセアニア	12,823	3,890	8,933	30.3
オーストラリア	9,167	2,813	6,354	30.7
ニュージーランド	3,081	871	2,210	28.3
無国籍	587	286	301	48.7

※ 地域毎に、国別総数が多い国を抜粋して記載

「在留外国人統計」(2015.6)

■在留資格別外国人登録者数

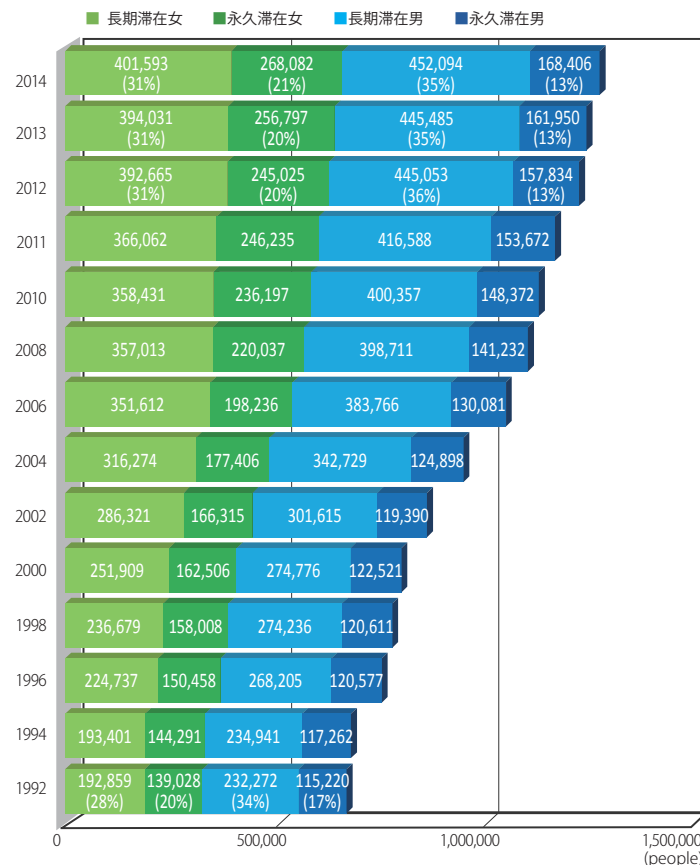


「在留外国人統計」(2015.6)

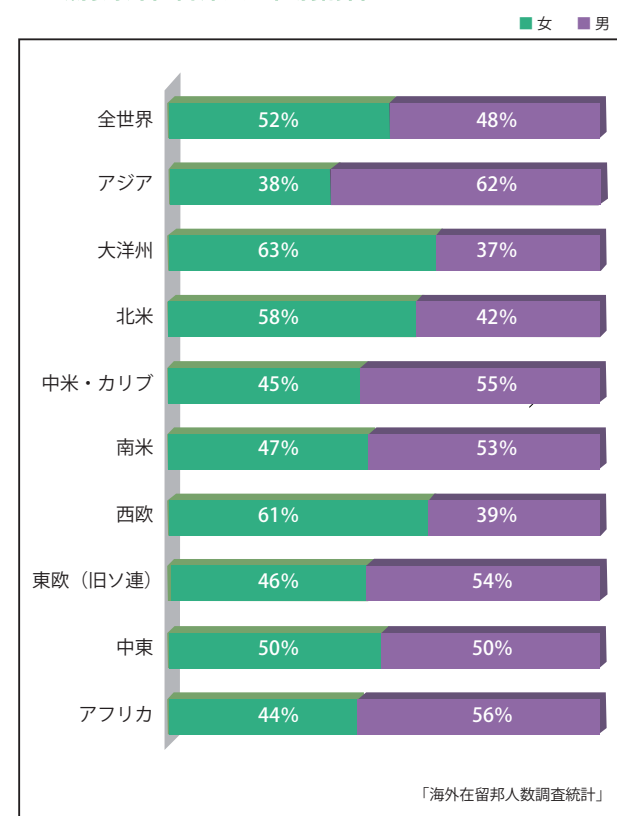
■海外在留邦人数の推移と滞在地域

海外在留邦人数は、1999年以降、女性の割合が男性を上回っている。なお、その内訳を見ると、永住者では女性が長く滞在する傾向が多い。

海外在留邦人数の推移



地域別海外在留邦人の性別割合



「海外在留邦人数調査統計」

女性/男女共同参画センターにおける外国人女性にかかわる取組

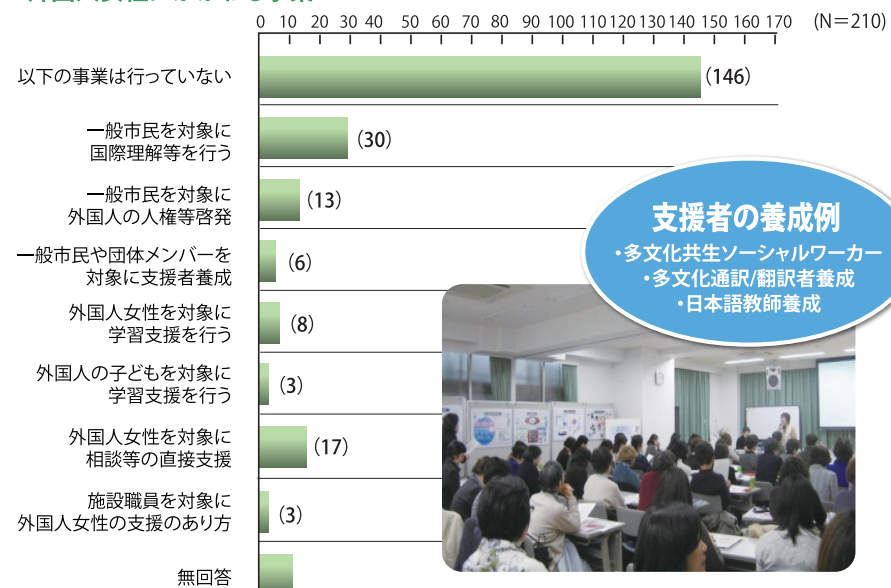
外国人女性にかかわる取組として、次の視点から各センターの事業についてアンケート調査を行いました。

- ・一般市民を対象に、国際理解/交流を目的に行う事業
- ・一般市民を対象に、外国人(女性)の人権や必要な支援について啓発/理解促進をはかる目的で行う事業
- ・一般市民や団体メンバーを対象に、支援者の養成を目的として行う事業
- ・外国人女性を対象に、学習支援を行う事業

■外国人女性にかかわる事業への取組状況

「外国人女性にかかわる事業を行っていない」と回答したセンターは、146施設。もっとも多い取組は、「一般市民を対象にした国際理解」で、30施設。次に、外国人女性を対象にした相談等の直接支援(17施設)。

外国人女性にかかわる事業



支援者の養成例
・多文化共生ソーシャルワーカー
・多文化通訳/翻訳者養成
・日本語教師養成